

一問一答

質問 農地、林地・森林も減少し、宅地や工業団地を増やす計画についての考え方を伺います。

市長 農地は過去10年間に684ha減少しており、今後の計画では331haと半分以下に抑制してまいります。森林減少は、胆沢ダム建設が大きく影響するものです。人口減少が進む中でも、世帯数は増加し、宅地需用は増えると考えっております。

質問 雇用の場として、第一次産業には大きな可能性があると思われませんが伺います。

市長 基幹産業である農業が、いま転換期にきており、農業所得の安定化、後継者の確保、就労の場として、新しい光を当てる事が大事な政策と考えております。

姉妹都市の提携について

昭和60年に、旧胆沢町が、静岡県旧大東町と姉妹都市として交流をしていました。旧大東町は合併し、静岡県掛川市になりましたが、昨年の岩手・宮城内陸地震の際、直接、災害見舞いに奥州市へ来られたことなどから、新たに奥州市と掛川市との間に、友好、親善関係を樹立するため、姉妹都市を提携するものです。

年頭のご挨拶



市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年は、岩手・宮城内陸地震による被災地の復興をめざし関係方々が懸命な努力をなされ、以前の生活にほぼ復元できましたことを大変嬉しく思っています。

また、景気の低迷が続く雇用問題、そして全国的に猛威を振るった新型インフルエンザは社会的に大きな不安を残し、さらには経済的にも大変厳しい年でありました。

市議会におきましては、議会改革の一端でもあります議会基本条例の制定実現の年であり、12月議会より一問一答方式を取り入れ、市民に分かりやすい、開かれた議会をめざし、議員個々が新たな自覚をもって取り組み、大きく前進した年でもありました。

本年は議員の改選期の年ですが、市民皆様からのお声に十分、耳を傾けながら地域医療問題、行財政改革による財政力の強化、産業振興、雇用対策、福祉の向上など山積みする当市の課題解決に向けて議員一人ひとりが最善の努力を尽くす所存でございます。

今後とも、市民皆様のさらなるご指導、ご支援をお願い申し上げますとともに、平成22年が皆様にとりまして最良の年であることを心からご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

平成22年1月 吉日

奥州市議会 議長 渡 辺 忠